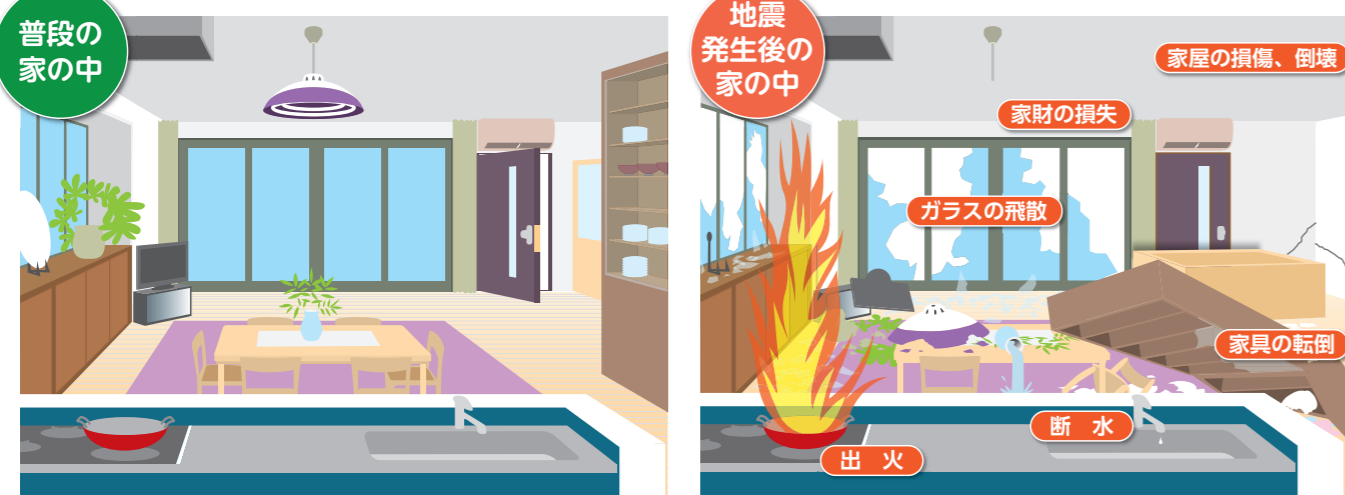




# 地震災害が起こったら



## どの程度の揺れでどのような被害が発生するの？

地震の揺れは、震度で表現されることが多いです。この震度と被害は一般的に以下のような関係にあると言われています。

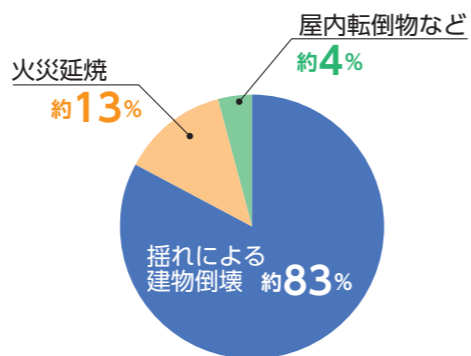
### 地震の揺れと被害想定

震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
ほとんどの人が驚く。食器などは音をたて、置物が倒れる。	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。食器類が落ちる。	歩くことが難しい。固定されていない家具や補強されていないブロック塀が崩れることがある。	立っていることが困難。耐震性の低い木造建物には倒壊や損壊するものがでてくる。	はわないと動くことができない。耐震性の低い建物では倒壊するものが多い。	耐震性の高い建物でもまれに傾くことがあり、耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが増える。

## 建物や、家具が凶器になる！？

地震が発生すると、強い揺れによって、建物自体が倒壊するおそれがあります。また、建物が無事でも、家の中のタンス・本棚などの家具が転倒したり、照明器具が落下するなどによって、大きな怪我をするおそれがあります。地震によって発生する死者数を要因別にみると、その大部分が建物内で発生することが想定されています。

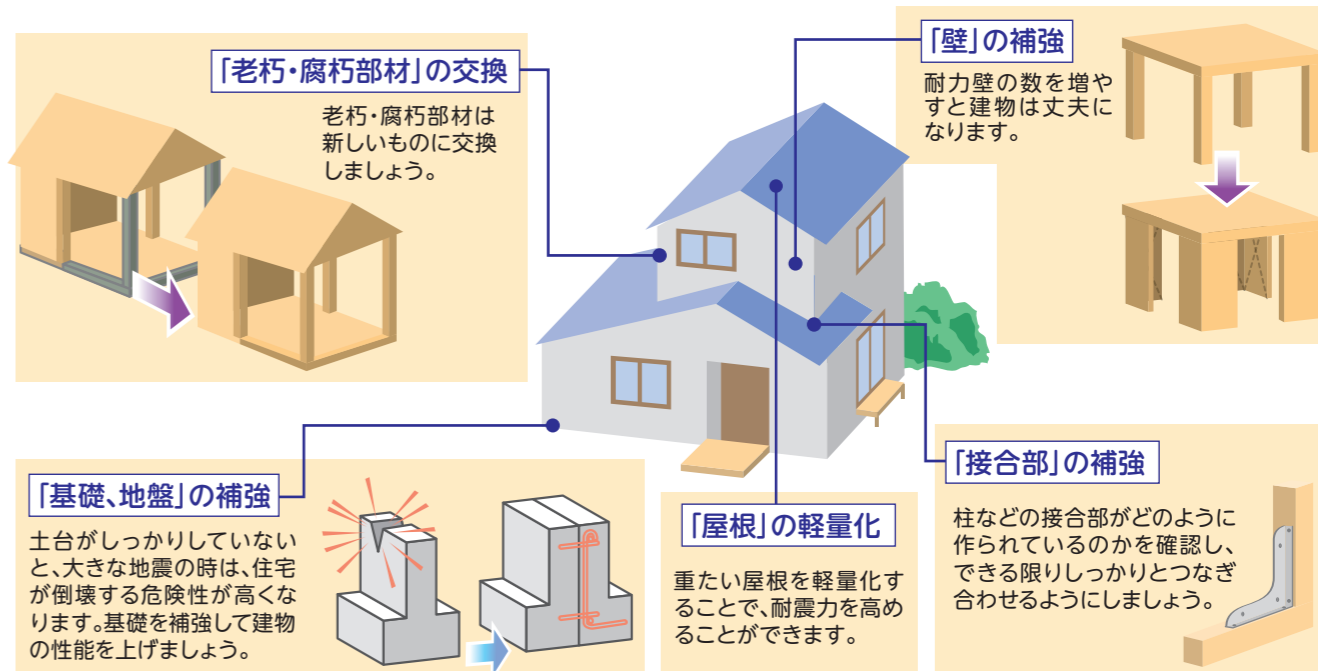
建物倒壊と家具の転倒などが人的被害を受ける主な要因なんだよ。家の中を安全な空間にすることが重要だよ。



■ 想定死者数の要因別割合  
※南海トラフ巨大地震発生時（津波被害は除く）  
平成25年大阪府地震被害想定調査より

## 家屋の耐震化

地震災害から命を守るためには、「建物を強くする」ことがとても重要です。建物を強くする方法として家屋の耐震化が有効な対策です。



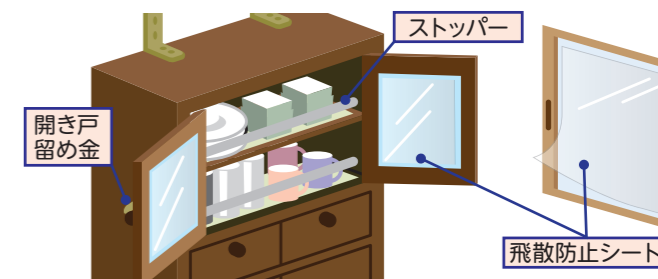
## 家具の固定と配置の見直し

地震が発生したら、あなたの身の回りの物が危険物となります。このような危険物から身を守るためには、家具を固定したり、家具の配置に気を配ることが大切です。

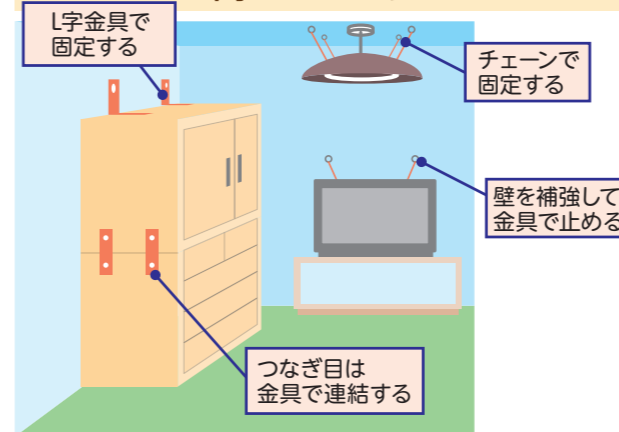
### 家庭でできる地震対策4つのポイント

- 1 安全な空間を確保する
- 2 家具の配置に気を配る
- 3 転倒防止器具などで固定する
- 4 ガラス・収納物の飛散を防止する

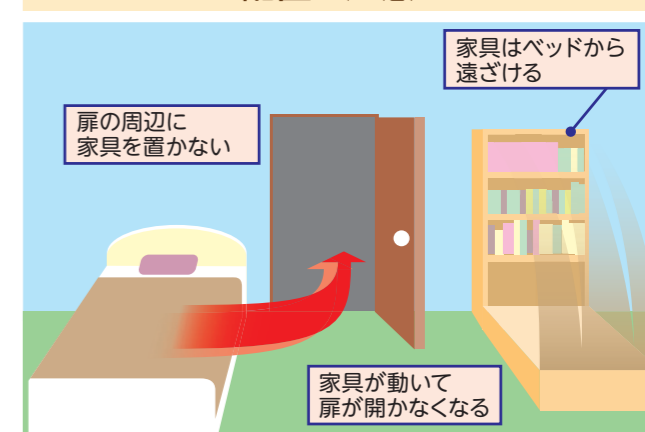
### ガラスや物の飛散をふせぐ！



### 倒れないように！



### 配置も注意！



共通編

風水編

地震災害編

ロインからの備え